



学校図書館だより

10月号

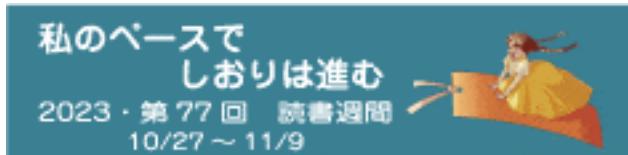
令和5年10月
柏市立手賀中学校
学校図書館

長く続いた暑さも、ようやく収まってきた。空気もさわやかで、何をするにも良い季節です。好きなことにじっくり取り組んだり、新しいことに挑戦したりできるとよいですね。今月は読書週間が始まります。夢中になれる本を学校図書館に探しにきてください。



読書週間 10/27~11/9

第77回の今年の標語は
「私のペースで しおりは進む」です。
すいすい読める時も、ゆっくり読みたい時も、
自分のペースで読書を楽しみたいですね。この
秋、とっておきの一冊と出会えますように…。



★学校図書館からのお知らせ★ 先生方のおすすめ本を展示します！

図書委員が先生に「おすすめ本」の取材
をしました。中学生の今、ぜひ読んでほしい本がいっぱいです♪



今月のおすすめ本

いろいろな秋にぴったりの作品を紹介
します。

～スポーツの秋に～

『武士道シックスティーン』
誉田 哲也 著 文藝春秋 (NDC 913)



剣道に青春をかける女子高校生の物語です。
中学最後の大会で、無名だった早苗に敗れた
剣道エリートの香織。同じ高校に進学した二
人は、剣道部で再会することになります。敗
北を忘れない香織とおっとりした早苗の掛け
合いが楽しい3部作（セブンティーン・エイ
ティーンに続く）です。

10月11日の給食は

学校図書館コラボ給食

本に出てくる食べ物が給食の献立に

『そして、バトンは渡された』

瀬尾まいこ・著 文藝春秋 (NDC 913)



主人公は17歳の女子高生、森宮優子。血のつなが
らない父親「森宮さん」と暮らしています。優子には
3人の父と2人の母がいて、継父継母が変わるたび、
名字も4回変わりました。複雑な家庭に思えますが、
愛情をたくさん注がれて、明るく育ちます。

父親として張り切る「森宮さん」は、娘のために
美味しい食事とデザートを作ります。（その中の1つ
が給食の献立になりました！）

大学卒業後に就職した優子は、自分を育ててくれた
大切な人たちの秘密を知ります。家族の形とは
…？題名の「バトン」に込められた意味は…？本屋
大賞受賞、映画化もされた感動作です。

～食欲の秋に～

『和菓子のアン』

坂木 司 著 光文社 (NDC 913)



デパ地下の和菓子屋で働く杏子。個性的な同僚に振り
回されながらも、歴史と遊び心に満ちた和菓子の魅力に
目覚めていきます。お客様の謎めいた言動を、和菓子の
知識で解き明かす、お仕事ミステリー。

～芸術の秋に～

『蜜蜂と遠雷』

恩田 陸 著 幻冬社 (NDC 913)



ピアノコンクールを舞台に、才能に恵まれた人、演奏
環境に恵まれた人、ピアノへの思いをあきらめられない
人、出場者たちそれぞれの心情を描きます。作品の中で主
人公たちが奏でるピアノ演奏を、文章で表現する場面を
ぜひ堪能してください。

★裏面に「名作まちがいさがし」あり★